

脳梗塞患者に対するtPA使用率(脳神経内科)

目的

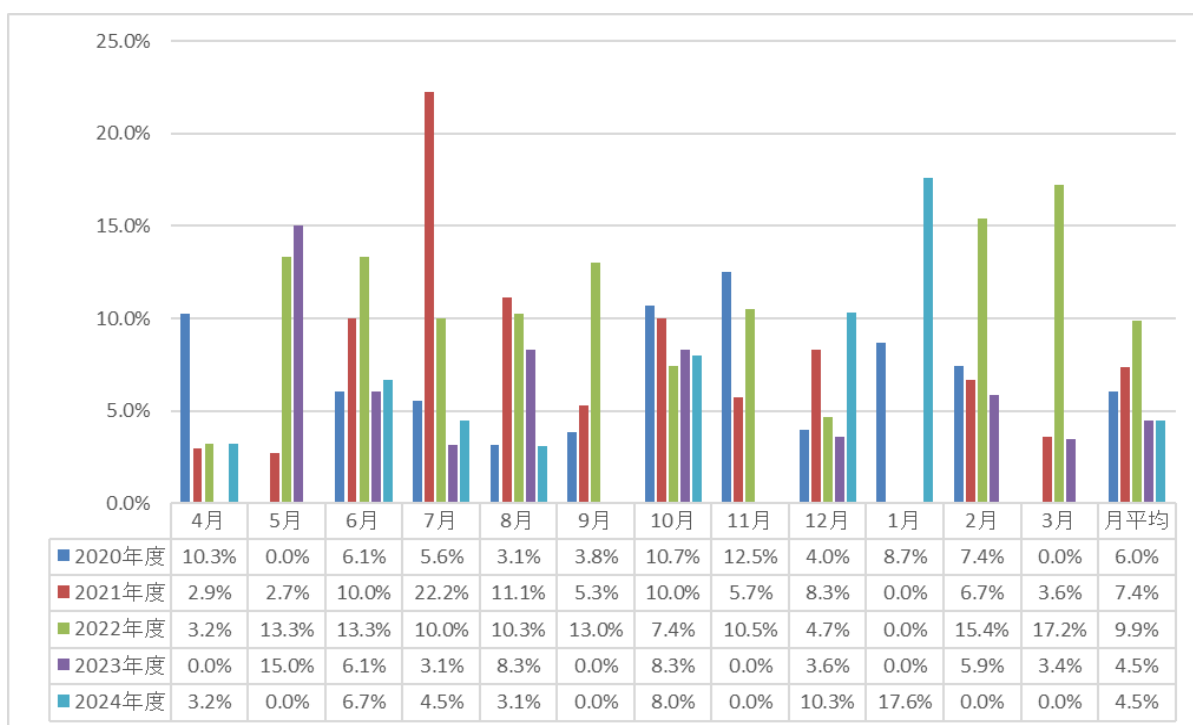
超急性期脳梗塞の治療(発症後24時間)の指針となるtPAの実施状況を示す。

分母

脳梗塞の患者の退院数

分子

脳梗塞の退院患者の内、入院中にtPAを使用した患者数



データ抽出内容

- ①各年度の月平均退院患者数 2020年度n=29人 2021年度n=28人 2022年度n=28人 2023年度n=25人 2024年度n=25人
- ②患者数は、一連の入院から退院をもって1とカウントとする。
- ③010060「脳梗塞」の診断群分類の患者を対象とし、内、入院中にtPA(当院採用クリアクター静注用)を使用した患者をカウントする。よって、併存症として脳梗塞がある患者は対象としない。

データ分析コメント

2024年度はさらに当院におけるtPAの件数は減少した。その要因として、全体的に当院へ搬送される救急車台数が減少しており、それに伴いtPA適応症例も減少したものと考えられる。地域周辺の人口減少、また、近隣病院でtPA適応患者の受け入れが進んでいるものと考えられる。また、tPA適応時間内に来院する患者数も減少しており、その際には適応時間により血管内治療を行っている。血管内治療の患者数に関しては微減である。